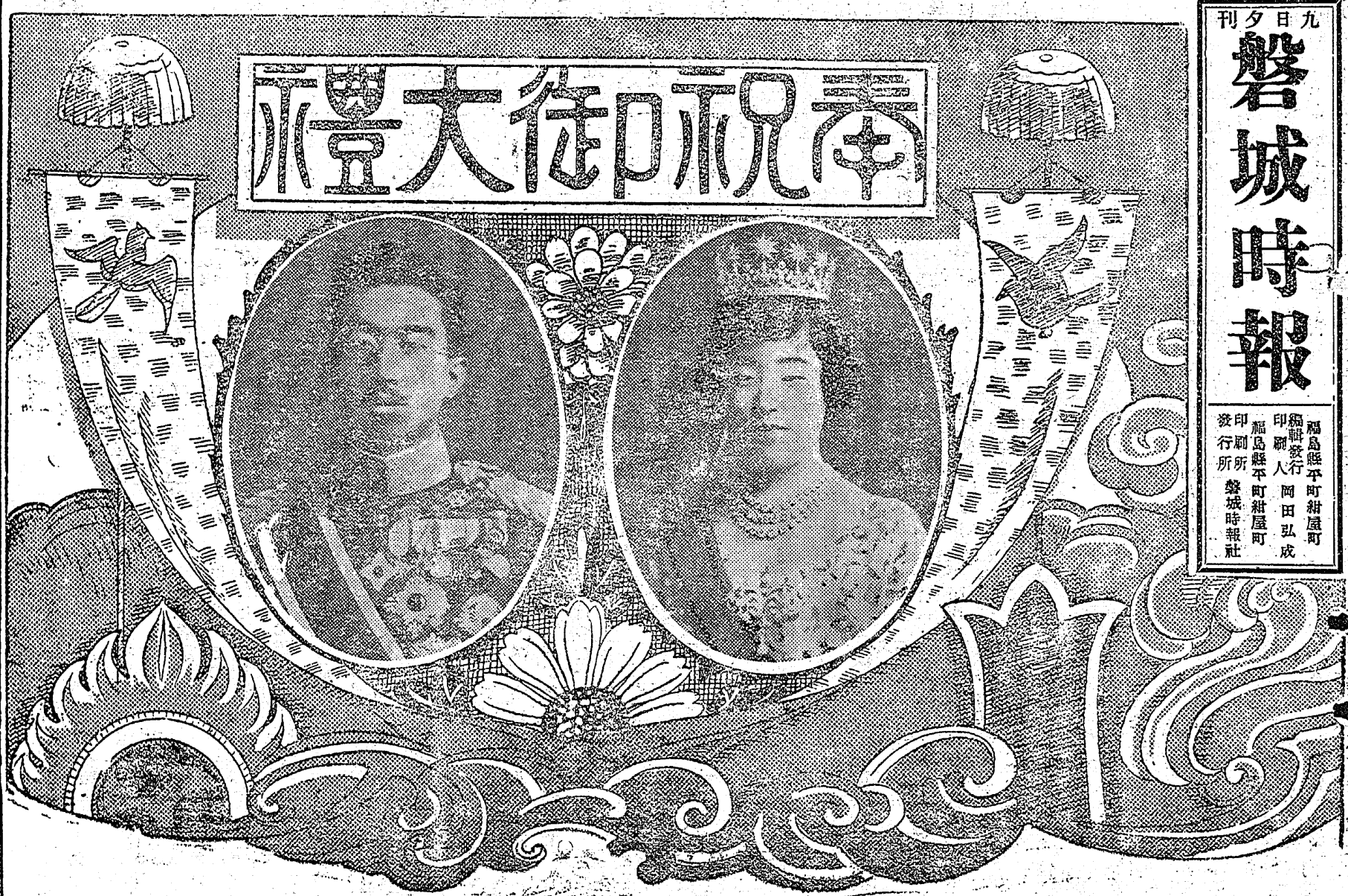


刊夕日九

磐城時報

福島縣平町紺屋町
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 福島縣平町紺屋町
發行所 磐城時報社

奉祝御大典



御大典賀表

磐城時報社同人

今上陛下元を改め、第二百二十四代の寶祚を踐ませ給ひて以來、億兆の臣民は雲霓管ならざるの思ひを以て、本日御大典を翹望し、聖代隆運の彌榮々に榮々奉らんことを鶴首せり、而して節物代謝し運行違はずして今日の生日を迎ひ、掛巻も畏き、天津日嗣の大義大典を盛行し給ふの佳き日に會したるは、我等八千萬臣民の光榮、何物か之に加ふべけんや。恭しく惟れば我大東日本帝國は、萬邦無比の帝國にして、一系萬世萬々世の天皇を奉戴す、而して帝徳の盛んなること、日月ご其位を等うして、皇極の無窮なる亦正に天壤と渝ること無し斯の如くにして今や我今上陛下は、本日御大典を奉戴する所を以て、更に又紫宸殿の高御座に昇御あらせられ、以て大統を承き八紘を統べさせ給ふを宣勅し給ふこと、我等臣民たる者、親しく盛光盛觀を拜し能はざるも遙かに宸殿を仰いで、南榮の儀典を偲び、欽景欽望、度み敬むて以て奉慶奉祝の忱誠を敷かずんばならず、惟れば

陛下は英明達徳に渡らせ給ひて、叡聖叡智、自からなる神皇天孫に坐しますは、我等臣民の夙に敬して而して尊び服する所なり、其天業を恢宏して以て、鴻基を擴め、而して更に億兆を綏撫して以て、天の壁立極み、國の退立限り、青雲の靄く極み、白雲の墜居向伏す限り、青海原は棹柁干さず、舟の艦の至り留る極み、安國の平らけく豊けく知し食され、金甌無缺の國威國光を光揚し給はんとす、我等臣民の恐懼して以て祖先の忠武奉公を躰認し、克己精勵、以て洪恩聖徳に報謝せずんばあるべからず、況や明治中興の鴻業は、乾綱を擴張して、大正の聖世は百政の完備を告げ、而して今や陛下の聖徳盛光に頼り帝國の使命を宇内に宣布し、以て昭和の明徳を八紘に光被し給はんとす、我等臣民たる者感奮感激し、以て奉獻の忠誠を致すは固より其所なり、於是手我等臣民は本日の大儀大典を奉戴して、金甌無缺の彌や尊きを景仰し、更に敬みて帝徳帝威の彌や高きを欽望せずんばならず、於戲盛んなる哉、本日の大典盛儀、眞に奉慶奉祝に堪へざるなり。

茲に微忱を敷き肅み度むて恭しく賀表を奉呈す。 恐懼恐惶稽首謹言

(完)

旗の波灯の海と化す

大典當日の平全町

松ヶ岡公園で拜賀式

高齢者に天盃傳達

待ちに待った曠古の御大典を行四日午後二時から元石城郡に於てはせらるゝ十日は遂に來た、平て表彰式を行ふ。

植田奉祝會

植田町では十日午後三時半より小學校において官民合同の祝賀會を催す。

撞球對抗競技

福島民報社平支局主催三郡撞球場の對抗競技は十日正午から平町スズラン撞球場で舉行する。

諸橋家の慶事

平町新川町町會議員諸橋國松氏三男新川氏は今回郡山市今泉顯治氏と結婚し、同日午前九時地方有志を招待し華燭の慶典を行つた。

上遠野村記念事業

上遠野村では村費八十六圓四角にて標三千本の造林を行つた。同村農會では養鶏養兔組合を組織し且つ農事實行組合をして柿梅の苗木を購入せしめ各戸に植栽せしめた。同村養蠶組合では經費五圓で奉獻の繭を募集同村深山青年分團では百三十二圓の經費で二町歩の土地に標四千本の植栽をした。上遠野青年團では二百五十圓の經費で圖書館を設立する事となり準備中來年四月完成の豫定。

郡南の奉祝ぶり

植田では懸賞假裝行列

各所色とりどりの催ほし

▲植田町の御大典奉祝余興は今ばかりの花自動車を連轉車を連日夕刻より開始娘手踊の屋臺轉する事となつた。

時恰か御大典に際し

藤田女學校昇格

平町藤田女學校は逐年進展しつゝあつたが今回其筋の認むる處となり七日附を以て文部大臣の認可指令に接し實業學校(甲種程度)に昇格した、即ち同校卒業生は女子専門學校入學或は中教員受驗資格を附與せられ

内郷村記念事業

内郷村では村費並に縣補助、部落寄附等六千九百七十九圓の豫算で御厩用水堰を新設約百三町歩の灌漑をなさしむる事となつた、この外經費四百圓を投じて縣並に平町との通話の爲め市内電話を架設する計劃で來年四月通話開始の豫定である。

勤續店員の表彰式

平新報社では御大典紀念のため平町商店に十年以上勤續する店員の表彰計劃をたてゝ、つたが

▲山田村においても青年團總出動十日夜六時小學校と聯合二隊に別れて提燈行列で全村をめぐり深更解散の筈。

▲入遠野村青年團は小學校庭に角力を催し假裝行列その他各種の余興を行ふ外各町村落部毎に提燈行列を催すものゝ如く各種の行列の渦巻きに各町村とも入波に埋まるであらう。

奉祝御大典

平町南町 平看護婦會 會長 清野きよ	平料理屋組合 平町字紺屋町 紋店 吉田寅之輔 電話 八二二番	大塚支店 製靴部 運動具部 電話 七〇二番	小田炭礦株式會社 社長 萩原申八	舍山崎合名會社 電話 一〇番 二七番	東部電力株式會社 平營業所 所長 武田精一	尾形治右衛門
--------------------------	---	-----------------------------	---------------------	-----------------------	--------------------------	--------

石城地方の
各種記念事業

▲平町平婦人會では會員贈金、寄附補助等二百圓の經費にて精神修養講演會を開催、貧困者の救助等を爲すべく準備中。
▲飯野村農會では百三十圓の經費を投じ二反歩の土地に花見本園を設置した。
▲好間村では村民の寄附により經費七百圓で鐵筋コンクリートの奉安殿を建設し更に一千圓に

御婚禮支度は三井



平町 三井吳服店

弊店は常に良品本位、東都今冬の流行品を豊富に取揃へてあります。別して御婚禮支度には特に力を入れ、ました是非御用命下さい。

江戸裱丸帯、綿紗小紋御召、繪羽織訪問着、秩父夜具、銘仙各種

て木造平家建の招魂社を建立し二十日落成した。
▲大野村第二小學校では基本財産造成の爲め一反四畝歩に對し、檜三百本の植樹をした。
▲四倉町では二千七百五十四圓五十四錢にて奉安庫を建設した。
▲農間村經費四百八十圓にて第一部消防組の鐵骨火の見櫓を建設した。
▲田人村外三ヶ村組合では村費八百圓で七町歩に對し杉の植林を爲す。

縣會議員 鈴木辰三郎

高橋 龜松

堀江工業株式會社
社長 江口忠一

家具 漆器 丸 漆 器
本
營業所 平町三丁目
工場 平町月見町

平町四丁目 百澤商店
電話 十二番

磐城建物株式會社
支配人 井上貞治郎

平町三丁目 大一屋商店
丹野榮三郎

中野甲藏

平窪村

松本徳一

衆議院議員 木村清治

縣會議員 古川傳一

小野晋平

縣會議員 山崎吉平

古河鑛業株式會社 好間鑛業所
所長 下野十郎

釜屋商店
諸橋久太郎
諸橋守次
諸橋元三郎

平町會議員一同

湯本信用無盡株式會社

平町一丁目 平銃砲火藥店
電話 四四一番

富岡町 早川清久

電氣機械器具電線類絶緣料
通信機械器具其他器具修繕
三瓶電機商店
平町南町

銘酒ユラノスケ
一升瓶詰 一本壹圓
四合瓶詰 一本四拾錢
二合瓶詰 一本貳拾錢
◎從來通り空瓶交換をいたします

御大典奉祝 銘酒の特價 販賣
十二月九、十の二日間
平町四丁目平野通
永山酒造店瓶詰小賣部
出張販賣所
電話二〇七番

奉 祝 御 大 典

平町十五丁目

スズラン撞球場

織田榮三郎



平町驛前
阿部石炭店

阿部政右衛門
石川友次郎

入山探炭
株式會社
坑務所

磐城炭礦株式會社

湯本鑛業所

津川炭礦

隅田川炭礦

好間元山炭礦

礦主 小田吉治

御大典奉祝の爲十一月十日謹んで休業仕候

三井吳服店

奉祝御大典記念 十一月十日より三日間 於新館
池之坊 吉田簾月社中生花陳列會

内科、外科、耳鼻咽喉科
花柳病科

高久病院

院長 高久 忠

平町田町(電話二三番)

平驛前通り

活動
常設
有聲座

平製氷株式會社

加納 五郎

外從業員一同

石城郡銀行組合

平町搔搔小路

鈴木盛之助

植田水電氣株式會社

社長 金成 通

平町四丁目

鶴屋商店

猪狩庄 平

草野村

渡邊貞三

小名濱町

磐城工業株式會社

社長 小野晋平
支配人 福尾伊太郎

山崎與三郎

高岡唯一郎